

2023年度
東京大学大学院情報理工学系研究科

知能機械情報学専攻入試案内書

修士課程

博士課程

問い合わせ先[専攻事務室]

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学工学系・情報理工学系学務課

専攻チーム(知能機械情報学専攻) TEL 03-5841-6302

E-mail: kyoumu@office.mech.t.u-tokyo.ac.jp

入試案内ウェブページ

<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/>

「入進学希望の方へ」に各専攻の入試案内へのリンクがあります。

注意：本冊子以外に、「情報理工学系研究科募集要項」についても必ず目を通すこと。

(I) 修士課程

(1) 入学志願者は「2023年度東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程学生募集要項」を参照すること。

(2) 志望カード

志望教員、志望分野に関する希望等を本専攻指定の志望カード（修士課程用）に記入して出願書類と一緒に提出のこと。

（注）志望教員を、本冊子末尾の「知能機械情報学専攻研究室紹介」に記載の学生受入れ可能教員から選択し、なるべく第10志望まで記入すること。また、必ず入学の意志の該当する欄を選択すること。

(3) 専門能力調査カード

これまでの研究活動や大学の講義や演習で行った自主的な創作活動、課外活動等で、自身の専門能力を評価できる資料を1枚提出すること。

(4) 試験日程

a. 書類選考

出願書類をもとに書類選考が行われる。書類選考の可否結果の通知に関しては研究科募集要項で確認すること。

b. 筆記試験

数学の試験を行う。この詳細に関しては研究科募集要項で確認すること。

c. 外国語（英語）

TOEFL スコアを利用する。詳細は「令和 5(2023)年度東京大学大学院情報理工学系研究科入試 TOEFL 成績提出要項」を参照すること。

d. 専門科目・口述試験

試験は、書類選考合格者および TOEFL スコアの提出が有効であった者に対してのみ行う。原則としてオンラインで実施する。

| 試験日 | 試験時間 | 試験科目 | 試験内容 | 備考 |
|-------------------------------|----------------------|-------------|--|------------------------------|
| 8月22日 (月)～ 8月26日 (金) | 9:00 ～18:00 の間 | 知能機械 情報学 | 専門能力、志望分野並びに研究計画に関する英語での発表（7分）と、それに対する試問を日本語、または英語で行う。試問の中で、線形代数、解析(微分積分、常微分方程式など)、確率・統計からなる数学、機械系関連分野（機械力学、制御、メカトロニクス、ロボティクス）、情報系関連分野（情報基礎、デジタル回路、計算機、ソフトウェア）に関して問うことがある。 | オンライン試験の URL 等は、8月中旬までに通知する。 |

(5) 注意事項

- a. 口述試験では外付け Web カメラを用意し, Windows または Mac 等を用いて Zoom で接続すること。
- b. 予め発表用のスライドを準備し口述試験中に画面共有して発表すること。
- c. 10月入学を希望するものは, 出願前に必ず専攻事務室で資格を確認すること。
- d. その他の注意事項については, この入試案内書の「口述試験受験者心得」を必ず熟読のこと。

新型コロナウイルスの感染拡大に係る社会状況によっては、入試方法が変更となる可能性がある。より詳しい情報は本専攻ウェブページでも随時告知するので、必ず確認すること。

(Ⅱ) 博士課程

(1) 入学志願者は「2023年度東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程学生募集要項」(社会人特別選抜の志願者は、「2023年度東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程〔社会人特別選抜〕学生募集要項」)を参照するとともに、出願の前にあらかじめ希望する指導教員からガイダンスを受けておくこと。

(2) 志望カード

希望する指導教員と相談のうえ、志望教員名及び志望分野に関する希望等を、本専攻指定の志望カード(博士課程用)に記入して出願書類と一緒に提出のこと。

(3) 出願期間

出願受付期間が夏入試、冬入試で異なるので注意すること。出願受付期間は、「2023年度東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程学生募集要項」を参照すること。

(4) 試験日程

a. 夏入試

1) 第1次試験

原則としてオンラインで実施する。

| 試験日 | 試験時間 | 試験科目 | 試験内容 | 備考 |
|-------------------------------|----------------------|-------------|---|---------------------------|
| 8月22日 (月)～ 8月26日 (金) | 9:00 ～18:00 の間 | 知能機械 情報学 | 口述試験 知能機械情報学(口述) 口述試験の中で機械系関連分野(機械力学, 制御, メカトロニクス, ロボティクス), 情報系関連分野(情報基礎, デジタル回路, 計算機, ソフトウェア)に関して問うことがある。 | オンライン試験のURL等は8月中旬までに通知する。 |

注意事項

a. 2023年3月修士課程修了見込み者の口述試験は、修士論文またはこれに代わる研究の経過状況、希望する研究課題についての構想・計画、それらに関する知能機械情報学上の知識について行う。受験者は予め発表用のスライドを準備して画面共有を用いて説明し、質疑に答えること。

b. 修士課程既修了者の口述試験は第2次試験を合わせて行うので、以下の第2次試験の[注意]に従うこと。

外国語の試験は、TOEFLの提出成績に基づく英語能力評価により行う。なお、提出する成績については研究科募集要項で確認すること。

ウェブページ(<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/entra/index.shtml>)に補足的説明を掲載することがあるので、必ず確認すること。

また、本学の大学院修士課程修了(見込み)者については、TOEFLの成績を提出する必要はない。

2) 第2次試験

第2次試験は、口述試験により実施する。完成した修士論文またはこれに代わる研究について、第1次試験の合格者に対してのみ行う。

期日は2023年2月の予定であるが、詳細は追って通知する。

[注意] 該当する論文またはこれに代わるものと、発表用のスライドを追って通知する方法で提出すること。決められた時間内に研究内容について、発表用のスライドを画面共有して説明し、質疑に答えること。

b. 冬入試

第1次試験と第2次試験を2023年2月に実施し、若干名を受け入れる。

試験方法・期日・場所等の詳細は10月頃にウェブページ

(<https://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/course/m-i/admission.shtml>) に掲載する。

(5) 社会人特別選抜出願者は、出願前に必ず、知能機械情報学専攻事務室へ問い合わせること。また、知能機械情報学に関連する分野での研究及び業績について、以下の資料を、「2023年度東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程〔社会人特別選抜〕学生募集要項」に定められた「提出書類等」に含めて出願すること。「提出書類等」に記載された業績をもって、科目試験の免除資格を審査する。様式は自由である。

i. 研究業績リスト（日本語または英語）

出願者の在職中の業績を示す学術論文、特許、製品などを列挙したもの、複数の者の共同の実績である場合には、その中での貢献部分も明らかにすること。

ii. 業績の概要（日本語または英語）

研究業績リストの中から主要な業績3件以内を選び、その概要をA4版用紙に5ページ程度にまとめたもの。

iii. 博士課程入学後の研究計画書（日本語または英語）

A4版用紙に2ページ程度にまとめたもの。

iv. 推薦書（日本語または英語）

研究業績をよく知るもの（修士の指導教員を含む）2名からの推薦書：各1通、合計2通。

v. 修士論文、またはそれと同等以上の学力を示すレポート

vi. vの概要（日本語または英語）

vii. その他の参考となる資料

発表論文の別刷、特許明細書、受験生が開発した製品のパンフレットなど、博士課程入学の能力を判定するために参考になるもの：各原本1部

(6) 注意事項

a. 口述試験では外付けWebカメラを用意し、WindowsまたはMac等を用いてZoomで接続すること。

b. 予め発表用のスライドを準備し口述試験中に画面共有して発表すること。

c. 10月入学を希望するものは、出願前に必ず専攻事務室で資格を確認すること。

d. その他の注意事項については、この入試案内書の「口述試験受験者心得」を必ず熟読のこと。

新型コロナウイルスの感染拡大に関する社会状況によっては、入試方法が変更となる可能性がある。より詳しい情報は本専攻ウェブページでも随時告知するので、必ず確認すること。

2023 年度東京大学大学院情報理工学系研究科

知能機械情報学専攻 修士課程・博士課程 口述試験受験者心得

一般教養科目（数学）の筆記試験については研究科の指示に従うこと。

1. 試験日時

この案内書に記載の「試験日程」を参照すること。

2. 試験場

口述試験は原則オンラインで行う。

各自が入室すべきオンラインシステムの URL については、8 月中旬までに通知する。

3. 事前に用意すべきもの

- (1) 受験票（印刷しておくこと）
- (2) カメラ付きの Windows または Mac などを用意すること。
- (3) 予めスライド（パワーポイントなど）を準備し口述中に画面共有して発表すること。
- (4) 周囲に人がおらず静寂を保て十分な品質のインターネット回線を用意すること。
- (5) 解答をカメラの前で提示してリモートで読み取るために必要な A4 以上のノート、スケッチブック、ホワイトボード等と、リモートからも視認できる太いペンを用意すること。
- (6) 一般教育科目の試験（数学）の携行品については、研究科の指示に従う事。

4. 試験時の留意事項

- (1) オンライン試験は常に録画がなされている。
- (2) 試験開始後は、受験を放棄する場合でも途中での退出はできない。
試験時間中の一時退室も原則としてできない。試験中気分が悪くなったりトイレに行きたくなったときは申し出ること。
- (3) 試験中は閉ざされた室内に自分一人である事。
- (4) 試験中はカメラを ON にし、バーチャル背景は利用しないこと。ヘッドホン・イヤホンは使用しないこと。
- (5) 発表中のプレゼンテーションツール、紙の台本等は認めるが、質疑応答中は参照しないこと。
- (6) 参考書、インターネット等の参照は許可のない限り不可とする。
- (7) 発表の時間管理は試問室で行う。ただし、辞書機能、電卓機能、インターネット、PC 接続機能の無い時計の利用は可能とする。
- (8) 受験票は予め印刷して机の上に置いておくこと。
- (9) 机の上には、受験票、PC、Web カメラ、モニタ、キーボード、マウス、A4 以上のノート、スケッチブック、ホワイトボード、ペン以外は置いてはいけない。
- (10) 机の前、横に本棚があればカーテン・シーツなどで隠すこと。
- (11) 試験前、および試験中にカメラを動かして試験監督に机の上、および受験する部屋全体（360 度）を見せる必要がある。プライバシーにかかわるものは事前に対応しておくこと。
- (12) 試験内容に関しては記録しないこと。また、一切口外しないこと。
- (13) 万が一不正行為が発覚した際には遡って試験を無効とする。
- (14) 口述試験終了後、試験監督者からの指示に従いオンライン試験室から退出すること。

一般教育科目（数学）の受験上の注意については、研究科募集要項とそれに付随する会場試験受験要領を参照すること。

以上

提出書類リスト(知能機械情報学専攻)

| | 夏入試 | | 冬入試 | |
|----------------|---|--|---|--|
| | 提出書類 | 対象者 | 提出書類 | 対象者 |
| 修士課程 | 志望カード(修士課程用) | 全員 | 実施なし | |
| | 専門能力調査カード | 全員 | | |
| | TOEFLスコア | 全員 | | |
| 博士課程 | 志望カード(博士課程用) | 全員 | 志望カード(博士課程用) | 全員 |
| | TOEFLスコア | 本学大学院修士課程を修了した者または修了見込みの者は免除。以上の者以外は全員提出。 | TOEFLスコア | 本学大学院修士課程を修了した者または修了見込みの者は免除。以上の者以外は全員提出。 |
| | | | (1)研究業績リスト(日本語または英語) (2)業績の概要(A4用紙5枚程度、日本語または英語) (3)博士課程入学後の研究計画書(A4用紙2枚程度、日本語または英語) (4)推薦書(2名分) (5)修士論文または同等以上の学力を示すレポート (6)(5)の概要(A4用紙2枚、日本語または英語) (7)その他参考資料 | 全員 * 修士課程を修了見込みの者は、出願時ではなく、第2次試験時に(5)を提出すること。 |
| (社会人特別選抜) 博士課程 | 志望カード(博士課程用) | 全員 | 志望カード(博士課程用) | 全員 |
| | TOEFLスコア | 本学大学院修士課程を修了した者または修了見込みの者は免除。以上の者以外は全員提出。 | TOEFLスコア | 本学大学院修士課程を修了した者または修了見込みの者は免除。以上の者以外は全員提出。 |
| | (1)研究業績リスト(日本語または英語) (2)業績の概要(A4用紙5枚程度、日本語または英語) (3)博士課程入学後の研究計画書(A4用紙2枚程度、日本語または英語) (4)推薦書(2名分) (5)修士論文または同等以上の学力を示すレポート (6)(5)の概要(A4用紙2枚、日本語または英語) (7)その他参考資料 | 全員 * 修士課程を修了見込みの者は、出願時ではなく、第2次試験時に(5)を提出すること。 | (1)研究業績リスト(日本語または英語) (2)業績の概要(A4用紙5枚程度、日本語または英語) (3)博士課程入学後の研究計画書(A4用紙2枚程度、日本語または英語) (4)推薦書(2名分) (5)修士論文または同等以上の学力を示すレポート (6)(5)の概要(A4用紙2枚、日本語または英語) (7)その他参考資料 | 全員 * 修士課程を修了見込みの者は、出願時ではなく、第2次試験時に(5)を提出すること。 |